

出でよ

命のマツヤマ宣言

終末期ガイドラインを

在宅現場でどう活かす？

先延ばしの医療から本人の生き方に向き合う医療へ



〈企画〉

長尾クリニック 医師 長尾和宏氏

議論百出のまま成熟化しない、終末期ガイドラインや尊厳死の法制化。今回は在宅医療の現場でそれらをどう活かすか本音で議論し、医学会ごとに見解が異なる終末期ガイドラインの整合をマツヤマ宣言として表明する！

<http://www.tampopo-clinic.com/zaitaku2013/>

第15回日本在宅医学会大会 in 愛媛

平成25年 3月31日(日) 9:00～12:00

会場：ひめぎんホール（愛媛県県民文化会館）メインホール

大会事務局：ゆうの森 〒791-8056 愛媛県松山市別府町 444-1

終末期ガイドラインを在宅現場でどう活かすかを本音で議論しましょう！

超高齢社会を迎え、終末期のいわゆる「延命処置」への関心が高まっている。なかでも増え続ける60万人ともいわれる「胃ろう」への対応が話題になっている。平成24年日本老年医学会は、高齢者の人工栄養に関する立場表明を行い、「場合によっては撤退もある得る」とのガイドラインを表明した。すでに現場では2割の医師が人工栄養の中止をしているというアンケート結果も公表された。同様に日本透析医学会も高齢者の人工透析に関して、「本人ないし家族が希望した場合に中止もあり得る」との見解を表明している。このように、各医学会から終末期ガイドラインが表明されたものの、現場への周知はこれからであり、具体的手順などはいまだ不明確な点も多い。またそれらは主に病院内での取り扱いが想定されており、介護施設や在宅現場での終末期患者さんへの適応は不透明である。

一方、在宅医は多くの場合、終末期医療に関する総合医であり、臓器別縦割りで表明されるガイドラインを統合する立場にあると考える。また諸外国（たとえばフランスのレオネット法）においても「延命治療の中止や差し控え」は「緩和医療」と両輪で行われるべきであることが明言されており、緩和医療学会との協力も不可欠である。一方、当然こうしたガイドラインに懐疑的な見方もある。さらに国会では尊厳死法制化議員連盟の活動が活発化して、2案の議員立法が国会提出寸前である。しかし一部の障害者団体、難病団体が反対している。2人の医師による終末期の定義が明確ではないと指摘されている。このように終末期ガイドラインや尊厳死法制化に関しては、各県から様々な意見があり議論はまだ成熟していない。

本学会において、各医学会のガイドラインを在宅現場でどう活かすかを本音で議論したい。これまでの各医学会がそれぞれ出した終末期ガイドラインの整合性を吟味したい。完全に縦割りとなっている医学界の見解を横断的に見直したい。これは縦糸を横糸で紡ぐ作業でもある。これまで出されたガイドラインの統合を試みるとともに、先延ばしの医療から本人の生き方に向き合う医療への転換を、在宅医学として発信したい。さらにできれば「松山宣言」として日本在宅医学会としての立場表明をも試みたい。

企画者・座長 長尾和宏先生

- ◆医療法人社団裕和会理事長、長尾クリニック院長。
- ◆日本慢性期医療協会・理事、日本ホスピス在宅ケア研究会・理事、日本尊厳死協会・副理事長など。
- ◆主な著書：『平穏死・10の条件』、『胃ろうという選択、しない選択』、『町医者だから言いたい！ 1,2,3』、『蘭学医・間寛斎～平成に学ぶ医の魂～』、『町医者カシリーズ1,2,3,4,5』、『禁煙で人生を変えよう』など

演者

- ◆帝京大学医学部内科学講座緩和ケア内科 有賀悦子先生（日本緩和医療学会）
- ◆東京都健康長寿医療センター長 井藤英喜先生（日本老年医学会）
- ◆独立行政法人国立病院機構新潟病院副院長 中島孝先生
- ◆仙台往診クリニック院長 川島孝一郎先生

参加方法

<http://www.tampopo-clinic.com/zaitaku2013/>

【参加費用】

参加区分	事前申込
医師・歯科医師（日本在宅医学会員）	10,000
医師・歯科医師（非会員）	11,000
コメディカル・一般（日本在宅医学会員）	3,000
コメディカル・一般（非会員）	4,000
学 生	2,000
抄 録 集	1,000

【申込方法】

大会ホームページの「参加申し込み」のページよりお申込みください。

※当日申込は、事前申込（2月28日まで）より1,000円高くなります。（学生、抄録集をのぞく）

※参加証は、大会2日間有効です。

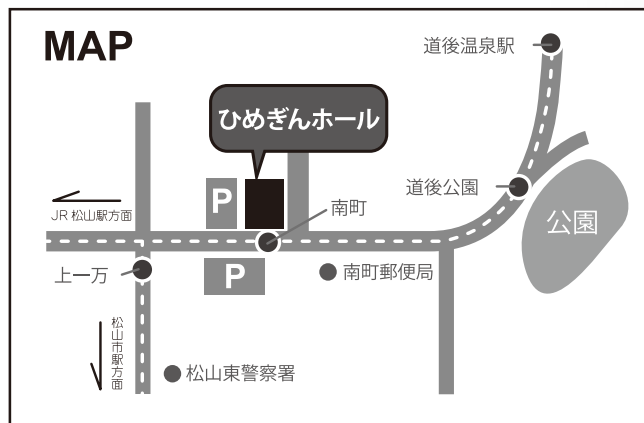
※2日間とも企業協賛によるランチョンセミナー（無料のお弁当付）が多数実施されます。

※事前申込は、2013年2月28日（木）までです。

これ以降は当日申込となりますので、宿泊、懇親会の予約申込はできません。

会場：ひめぎんホール

〒790-0843 愛媛県松山市道後町2丁目5番1号



四国・松山 湯のまち 道後温泉へ

大会の開催会場（ひめぎんホール）は、道後温泉から路面電車です約3分の近さ！2013年の日本在宅医学会大会は、春爛漫の温泉地での開催です。

あのミシュランガイドブックに☆☆☆で紹介されたこともある「坊ちゃん湯」は市営の公衆浴場。築110年余の木造三階建てで、国の重要文化財指定、『千と千尋の神隠し』の油屋のモデルになったともいわれる有名な場所です。

第15回日本在宅医学会大会事務局

〒791-8056 松山市別府町444-1

医療法人ゆうの森 担当：木原・前島

TEL：089-911-6333 E-mail：zaitaku15@tampopo-clinic.com